

# グローバルリーダーへ 挑戦する

中高生の  
ための

## 国際機関 キャリアフォーラム 2015 in 玉川学園



# GLOBAL LEADER

## Face the world, find your future

2015年  
9月12日(土)  
8:25 ~ 11:50

「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」をSGH研究課題に掲げ、グローバルな課題の解決へ貢献できる人材育成のための教育課程開発に取り組んでいます。国連、外務省、国際NGOで活躍している方々を招き、具体的なキャリア形成には何が必要なのか、どのような道があるのか理解を深める“日本初”の中生向け国際機関合同フォーラムです。

主催 玉川学園高等部

協力 外務省国際機関人事センター/玉川大学国際教育センター

UNFPA 国連人口基金/UNICEF 国連児童基金/UNIDO 国連工業開発機関/UNDP 国連開発計画/WFP 国連世界食糧計画  
AfDB アフリカ開発銀行/UNHCR 国連難民高等弁務官事務所/KGU 関西学院大学/JCCP 日本紛争予防センター/PKO 国際平和協力本部事務局



# 2015年9月12(土) 8:25~11:50

1 グループ1 (12年生235名および11年生219名=454名)	
8:25~8:35	学園講堂生徒集合→クラス別に入場→学年朝会
8:35~8:40	高学年教育部長による挨拶
8:40~9:20	基調講演 40分間
9:20~9:30	質疑応答 10分間
9:30~9:50	高学年校舎への移動および休憩
9:50~10:30	分科会①(定員制)
10:30~10:40	質疑応答 10分間
終了後、解散。希望者は分科会②へ引き続き参加可。	

2 グループ2 (10年生230名および9年生214名=444名)	
8:25~8:35	HR朝会
8:45~9:30	LHR
9:30~9:50	学園講堂へ移動・クラス別に着席
9:50~10:30	基調講演 40分間
10:30~10:40	質疑応答 10分間
10:40~11:00	高学年校舎への移動および休憩
11:00~11:40	分科会②(定員制)
11:40~11:50	質疑応答 10分間
終了後、解散	

**MOFA** 外務省 総合外交政策局 国際機関人事センター  
 外務省に属する政府機関で国連をはじめとする国際機関への就職を目指す日本人の支援業務を行っています。国際機関の仕事紹介、職員募集情報の提供、JPO 試験や国連職員の体験談などを提供しています。

**UNFPA** 場所:205  
 United Nations Population Fund  
 国連人口基金 東京事務所  
 UNFPA (United Nations Population Fund 国連人口基金)  
 国連人口基金は、21世紀の人類が直面している最重要課題の一つである人口問題を、単なる数の問題ではなく人間の尊厳の問題として取り組んでいる国連の機関です。貧困削減や持続可能な開発、性と生殖に関する健康と権利(SRH/RR)の推進、女性のエンパワーメント、ジェンダーの平等、国勢調査等を含む研究調査の支援活動、特に政策づくりや開発プログラムの実施、さらにこれらの問題に対する啓発活動を行っています。

**佐崎 淳子** (ささき・じゅんこ)  
 東京事務所長  
 世界銀行本部人口保健栄養部(WB/ワシントン)、国連人口部(UN/ニューヨーク)、国連人口基金(UNFPA/ニューヨーク、十数カ国)、国連開発計画/国連ボランティア計画(UNDP、UNV/ボン)に勤務する。これまでに駐在勤務及び赴いた国は、中国/モンゴル/北朝鮮/ネパール/ペルー/ボリビア/パラグアイ/コスタリカ/ニカラグア/パナマ/など世界約120カ国以上。人口と開発、リプロダクティブヘルス/ライツ、家族計画、女性の地位向上、ジェンダーの平等、HIV/エイズ、ガバナンス、持続可能な開発、開発と平和構築、防災管理・災害対策、武装解除・動員解除・社会復帰計画と女性、ボランティアリズム等に取り組む。西語、仏語、英語、中国語に堪能。早稲田大学卒業後、米国ジョージタウン大学とオハイオ大学で国際関係論と人口開発/人口統計学の二つの修士号取得。

**UNICEF** 場所:シアター  
 United Nations Children's Fund  
 国連児童基金 東京事務所  
 UNICEFは、すべての子どもたちの権利が守られる世界を実現するために、世界150以上の国と地域で、保健、栄養、水・衛生、教育、HIV/エイズ、保護、緊急支援、アドボカシー(政策提言)などの活動を実施しています。子どもたちの生存のための基礎的な社会サービスの支援に加え、UNICEFは常に子どもたちの権利の擁護者、代弁者として、子どもたちをめぐる現状を分析・モニタリングし、具体的な政策提言を各国の指導者や国際社会に対して行っています。こうした活動をjする上でUNICEFは、1989年の国連総会において採択された「子どもの権利条約」を指針として掲げています。

**平林 国彦** (ひらばやし・くにひこ)  
 東京事務所代表  
 1994年から約10年間、国立国際医療センター国際医療協力局に勤務し、ボリビア、コロンビア、インドネシア、ホンジュラス、ウズベキスタン、南アフリカ、ベトナム等の病院での技術指導、保健省での政策立案支援などを担当。JICA専門家・チーフアドバイザー、WHO短期コンサルタントなどを経て、2003年からUNICEFアフガニスタン事務所(保健省シニア・アドバイザー)、UNICEFアフガニスタン事務所保健・栄養部長、およびレバノン事務所(保健栄養部臨時部長)を歴任。2006年9月から2008年6月までUNICEF東京事務所副代表、2008年7月からUNICEFインド事務所副代表。1984年筑波大学医学専門学群卒医師免許取得。循環器外科を専攻(筑波大学付属病院、茨城こども病院、神奈川子ども医療センターなどで研修)。1994年筑波大学大学院博士課程修了、医学博士取得。

**UNIDO** 場所:304  
 United Nations Industrial Development Organization  
 国連工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所  
 UNIDOは、国連の専門機関のひとつで、開発途上国や市場経済移行国において包括的に持続可能な産業開発(Inclusive and Sustainable Industrial Development)を促進し、これらの国々の持続的な経済の発展を支援する機関です。包括的な産業開発とは、すべての人々に公平に恩恵をもたらして貧困を減らす産業開発を意味し、また、持続的な産業開発とは、経済発展と環境保護の両立を実現する産業開発を意味します。

**村上 秀樹** (むらかみ・ひでき)  
 次長  
 電機メーカーでは海外マーケティングなどを担当。アメリカの大学院で修士号を取得しUNIDO本部のインテランとして採用される。大学院卒業後は開発コンサルティング会社に就職し、うち1年間はインドネシアでJICA企画調査員となる。その後JPO試験に合格し、UNIDOに派遣されウィーン本部に勤務。3年目はナイジェリア地域事務所勤務。開発コンサルティング会社での勤務を経てUNIDOの職員となる。

**UNDP** 場所:303  
 United Nations Development Programme  
 国連開発計画  
 UNDPは国連システムのグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓発を行い、人々がより良い生活を築くべく、各国が知識・経験や資金にアクセスできるように支援しています。現在、177の国・地域で活動をし、グローバルな課題や国内の課題に対してそれぞれの国に合った解決策が見出せるよう取り組んでいます。それぞれの国の能力強化には、UNDPのスタッフの知識や他の国連機関や政府や市民社会等との幅広いパートナーシップが役立っています。

**野口 義明** (のぐち・よしあき)  
 プログラムアナリスト  
**民間企業から国連へ:現役JPOの体験談**  
 早稲田大学政治経済学部卒業、オーストラリア・ボンド大学経営学修士(MBA)、政策研究大学院国際開発学修士。トヨタ自動車に勤務後、2009年から国際協力機構(JICA)エチオピア事務所、2012年からガナ事務所とともに品質生産性向上活動「カイゼン」など民間セクター開発分野のプロジェクト形成と管理を担当。2013年からJPOとしてUNDPエチオピア事務所(勤務し、地方経済支援および起業家支援プロジェクトの管理を担当。現在は日本政府および国内関係機関との連絡窓口としてパートナーシップ形成およびリソース・モビライゼーションを担当。

**萩野 敦年** (はぎの・あつとし) 課長補佐  
 慶応大学法学部法律学科。1994年外務省へ入省。ルーマニアに約7年滞在。外務省では、中・東欧課ルーマニア担当官、第一国際情報官室、国際機関人事センター等を歴任。

**WFP** 場所:302  
 World Food Programme  
 国連世界食糧計画  
 国連の食糧支援機関で、世界の食糧問題に取り組み飢餓の内蔵を目標として食料の増産計画や支援活動へ取り組む。

**野副 美緒** (のぞみ・みお) イエメン事務所プログラムオフィサー  
 1975年東京都生まれ。中央大学総合政策学部卒。学生時代から神戸、イラン、パプアニューギニア、コロンビア、ユーゴスラビア、パキスタンなどで緊急援助のボランティアとして活動する。ロンドンスクールオブエコノミクスで発展途上国における社会政策学修士号取得。2003年度JPO試験に合格し、国連世界食糧計画(WFP)スリランカ事務所にて給食事業および津波支援に従事。南スーダンカポエタオフィス、プログラムオフィサーを務める。

**AfDB** 場所:301  
 African Development Bank  
 アフリカ開発銀行  
 アフリカの持続的経済開発を金融面から支援する国際金融機関

**遠藤 衛** (えんどう・まもる) 渉外・広報官  
 1991年大手製鉄会社に勤務の後、1993年より日本のNGO職員でタイ、カンボジアへ派遣。1999~2001年まで国連世界食糧計画(WFP)エチオピア事務所で学校給食プロジェクトを担当。2003-05年まで在タンザニア日本大使館に専門調査員として勤務。2011年7~12月に国際協力NGOセンター(JANIC)にて東北震災対応スタッフとして勤務。2012年からアフリカ開発銀行に勤務し、2013年よりアジア代表事務所次席を勤める。

**KGU** 場所:315  
 Kwansai Gakuin University  
 関西学院大学 国際教育・協力センター  
 1889年創立の神戸にある私立総合大学。日本で唯一国連ボランティア計画(UNV)へ学生を派遣するプログラムを持ち平成26年度文科省「スーパーグローバル大学(SGU)」へ指定。学部副専攻「国連外交プログラム」、大学院「国際外交コース」を設置し、国際機関で日本人職員増加・積極的に取り組んでいる。

**安居 信之** (やすい・のぶゆき) 教授  
**国際ボランティアのすすめ-君も、いざ世界の任地へ-**  
 日本航空在職中、青年海外協力隊としてエチオピアに赴任。その後日本航空を早期退職し、在タンザニア日本大使館にて専門調査員となる。一橋大学経済研究所でのCOE研究員を経て、JICAタンザニア事務所企画調査員、タンザニア国家統計局及び東アフリカ共同体(EAC)事務局に在任し、JICA技術協力専門家を歴任。(株)国際開発センターでは、タンザニアとマラウィで開発モニタリングに従事する。2015年より現職。博士(学術)。

**JCCP** 場所:313  
 Japan Center for Conflict Prevention  
 日本紛争予防センター  
 アフリカ地域における紛争の再発防止、民間分野における支援を行う国際NGO。

**石井 由希子** (いしい・ゆきこ) 事務局長  
 大阪大学法学部卒業、イギリス・シェフィールド大学院政治学修士。立命館大学院国際関係研究科修士。国連に5年ほど勤務した後、政府機関や大学、国際NGOなどで平和構築に従事。海外ではバリカン半島中東・アフリカの紛争地に赴任。前JCCPケニア・ソマリア代表。現在は管理職を務めている。

## 今、グローバルに活躍するとは

場所:玉川学園講堂

分科会1

分科会2

分科会3

分科会4

分科会5

分科会6

分科会7

分科会8

分科会9

分科会10

